

K.I.T.虎ノ門大学院 2017年度 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名	科目コード	単位数	開講期	VOD閲覧
企業イノベーション特論1	Z 126	1 単位	2 学期	学内・学外
Corporate Innovation 1				
科目分野	課程領域			
経営戦略	イノベーションマネジメント共通科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
明道 弘政	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)		
企業イノベーション特論2	チェンジマネジメント特論1 / 特論2	企業戦略要論 / 特論1 / 特論2
マーケティング要論 / B2Cマーケティング特論	組織人事マネジメント要論 / 特論	リーダーシップ要論 / 特論

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本講座は、前半を国内外優秀・受賞企業のケース事例を活用して経営の「企業概要」「リーダーシップ」「戦略経営」「顧客価値創造」「人材育成」「プロセス経営」「情報活用」の視点から評価・診断(アセスメント)することで、模範となる企業の成功要因(CSF)と独自能力(コアコンピテンシー)を理解する知識領域のケースメソッドでスキル・ノウハウを習得します。
 また、後半は毎回優秀・受賞企業の経営者をお招きして、持続可能な成長企業(サステイナブル)のためのビジネスモデルを実践領域のフィールドメソッドとして、経営者の声を通してスキルとノウハウを習得すると共に、受講生の要望により企業見学会を通して企業風土や職場環境及び社員一人ひとりの自主性・自立性および動機づけ、ITインフラとWebMarketing等の実態を把握することも可能です。

講義内容

- 全世界60カ国のグローバルスタンダードである米国国家品質賞(通称:MB賞)クライテリアの理解と考察。
 ケース事例:国内企業(日本IBM、リコー、富士ゼロックス、エプソン、第一生命、アサヒビール、トヨタ輸送、カルソニック等)
 海外企業(IBM、GE、リッツカールトン、ボーイング、テキサスネームプレート、ブランチスミスプリント等)
- 優秀・受賞企業・組織のケース事例を通して、経営イノベーションサイクル(MPDCA)の成功要因のための独自能力や評価尺度(KPI/KGI)について考察し、グループワークとプレゼンテーションを実施する。
- 『経営革新アセスメント基準書』のフレームワークの理解と評価事例から持続可能な成長企業(サステイナブル)モデルの本質を理解し、グループワークで自己診断(セルフアセスメント)できる能力を習得する。

到達(修得)目標

- 持続可能な成長企業ビジネスモデルとして顧客価値創造の重要性とアセスメントできる基本知識の習得。
- 戦略経営に基づく経営革新のための実践サイクル(MPDCA)と目標(KPI/KGI)の設定の習得。
- 成功企業のベンチマーキングや会社訪問の実体験で、自組織の企業品質向上の気づきを得る。

受講対象者

企業・組織の経営者・役員・管理者・リーダー、企画部門責任者・推進者、営業部門責任者・担当者、マーケティング担当者、経営革新推進者、研修部門責任者、製造部門責任者、情報部門責任者等。

履修上の注意事項やアドバイス

- ※ 本科目は、隔週クラス(180分×4日間、合計8コマ)で構成する。
 ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
 ※ 担当する教員は実務家教員とする。
 ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)	ヒューマンパワー (Z軸)	思考プロセス (X軸)
Y1: 基盤法令・テクノロジー	Z1: 問題発見力	X1: 企画
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	Z2: 独創力	X2: 構想
Y3: グローバル法令・実務	Z3: 問題解決力	X3: 調査・分析
Y4: マネジメント	Z4: プレゼンテーション力	X4: 設計・開発
Y5: 戦略立案	Z5: 変革推進力	X5: 変革
Y6: 標準化	Z6: コミュニケーション力	X6: 導入・運用
	Z7: リーダーシップ力	X7: 評価・検証
	Z8: ネゴシエーション力	X8: リーガルマインド
	Z9: オーナーシップ力	X9: ライフサイクル

プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 経営革新アセスメント基準書を利用してエクセレント企業の事前ケース・スタディーを分析・レポート	ケース・スタディー事前学習	講義で配布されるケース・スタディー
2 経営革新アセスメント基準書を利用してエクセレント企業の事例をワークショップで分析・発表	クラスW/Sとプレゼンテーション	ケース・スタディーと参加メンバーの事前課題ワークシート
3 優秀・受賞企業経営者・役員等の講義より成功要因と独自能力を考察・分析	オープン講座参加による成功事例考察とレポート提出	優秀・受賞企業経営者の配布資料と分析・作成レポート

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 事前課題により授業の理解度を確認する。 チームでのワークショップやプレゼンテーションの内容を総合的に評価する。
事前課題の提出と内容評価	50%	
チーム・ワークショップの貢献	20%	
チーム・プレゼンテーション	20%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	●『経営革新アセスメント基準書』(経営革新審査支援機構出版) ● 優秀・受賞企業のケース・スタディー	テキストの入手方法等は、別途お知らせします
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	●『経営品質賞とは何か』(江崎昌男:生産性出版)	絶版の可能性があります、KIT事務局で販売予定。

参考URL
適宜紹介予定

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	<オリエンテーション> ①優秀・受賞企業のケース・スタディー ②経営革新アセスメント基準書 (組織概要とカテゴリー) ③全国の成功企業の紹介と現状 <特別講義: 優秀・受賞企業・組織の経営者・役員による講演> ①組織概要 (組織価値、顧客、競争、戦略、組織能力) ②特徴と成功要因 (強みと弱み) リーダーシップ財務戦略	事前テキストの熟読 「理解度テスト」 優秀・受賞企業の事前研究	明道 受賞企業社長 (ゲスト スピーカー)	180分
	イベント 1. 講師紹介 2. 受講メンバーの自己紹介 3. エクセレント企業概要資料 4. 成功企業の現状資料 ①ケース事例事前学習 ②ケース事例チームW/S ③プレゼンテーション			
3.4	<優秀・受賞企業・組織のケース・スタディー> ①リーダーシップ (経営幹部、社会的責任と貢献) ②戦略経営 (戦略の立案と展開、実行計画、中長期戦略、人材戦略、財務) <特別講義: 優秀・受賞企業・組織の経営者・役員による講演> ①持続可能な成長企業のためのリーダーシップと戦略経営の具体的事例説明 ②評価と成果 (強みと弱み)	優秀・受賞企業の事前研究	明道 受賞企業社長 (ゲスト スピーカー)	180分
	イベント 前半: ①ケース事例事前学習 ②ケース事例チームW/S ③プレゼンテーション 後半: ①講演企業・組織の事前学習 ②講演企業の成功要因とビジネスモデルレポート			
5.6	<優秀・受賞企業・組織のケース・スタディー> ①顧客価値創造 (顧客・市場区分、ニーズ、苦情・クレーム、顧客満足) ②人材育成 (業務マネジメント、組織能力、社員教育、動機づけ、社員満足) <特別講義: 優秀・受賞企業・組織の経営者・役員による講演> ①持続可能な成長企業のための顧客価値創造と人材育成の具体的事例説明 ②評価と成果 (強みと弱み)	優秀・受賞企業の事前研究	明道 受賞企業社長 (ゲスト スピーカー)	180分
	イベント ① ケース事例事前学習 ②ケース事例チームW/S ③プレゼンテーション			
7.8	<優秀・受賞企業・組織のケース・スタディー> ①プロセス経営 (価値創造プロセス、設計、パフォーマンス、サイクルタイム) ②情報活用 (知的財産、情報収集・分析、活用・評価、精度・鮮度、有効性) <特別講義: 優秀・受賞企業・組織の経営者・役員による講演> ①持続可能な成長企業のためのプロセス経営と情報活用の具体的事例説明 ②評価と成果 (強みと弱み)	優秀・受賞企業の事前研究	明道 受賞企業社長 (ゲスト スピーカー)	180分
	イベント 前半: ①ケース事例事前学習 ②ケース事例チームW/S ③プレゼンテーション 後半: ①講演企業・組織の事前学習 ②講演企業の成功要因とビジネスモデルレポート			

※ 講義日程は、学事ポータル上の講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。